

③ 協働の形態：その他（事業協力）（16件）

No.	実施年月日	協働事業の名称	担当部署	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	参加人数 (複数回の場合 は延べ人数)	取組の効果、市民からの反響等
1	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	定例おはなし会	中央図書館	例年実施 (平成元年～)	図書館ボランティア読み聞かせグループ等の協力を 得て、子どもたちの読書活動の推進を図る。	図書館ボランティア読 み聞かせグループ等	429	定例の図書館事業であるが、継続的な読書推進事業 として欠かせない事業。定期的に図書館へ足を運ん でもらう事により、参加者同士や参加者とボラン ティアとのコミュニケーションの場としても活用さ れている。参加者には好評である。
2	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	公園等里親制度(旧 苦小牧ク リーンアップサポーター制度)	緑地公園課	例年実施 (平成14年～)	苦小牧市が管理する公園、緑地及び道路等などに おいて市民等のボランティアにより、環境美化活動 を行うなかで、清潔で美しい街づくりを進めるため。	パークゴルフ同好会、 事業所、個人等 登録 人数 749人	2, 121	道路や公園などのゴミ拾い以外にも、パークゴルフ 場の草刈や桜の施肥などの活動も行っていたいて おり、環境美化だけではなく維持管理の充実にも寄 与している。
3	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	苦小牧市環境美化活動事業	ゼロごみ推進課	例年実施 (平成27年～)	苦小牧市内の環境美化を目的とし、市と町内会 (自治会)が協働して事業を実施 (1) 地域の大掃除 (2) 不法投棄又は不適正排出のパトロール (3) 文書の配付又は看板の設置等による啓発 (4) 折りたたみ式ごみステーション設置の取りま とめ (5) ごみステーション周辺の清掃又は花壇の設置 等による環境整備 (6) 団体間における環境美化に係る意見交換又は 協議	町内会・自治会	集計中	環境美化活動を町内会(自治会)と協働で実施する ことで、地域事情に応じた取り組みが可能となり、 その結果、市民の環境美化への意識が高まった。
4	令和6年4月13日 令和6年5月11日 令和6年6月8日 令和6年7月13日 令和6年8月10日 令和6年10月12日 令和6年11月 9日 令和6年12月14日 令和7年1月11日 令和7年2月8日 令和7年3月8日	宇宙少年団苦小牧分団月例会	科学センター	例年実施 (昭和62年～)	YAC(日本宇宙少年団)の苦小牧分団により、毎月第 2土曜日に子どもたちを対象とした宇宙に関する工作 教室等を開催している。様々な宇宙教育実践活動 を通じて宇宙への関心・興味を持ってもらい、好奇心 や冒険心を備えた創造的な子どもたちを育成するこ とを目的としている。	YAC日本宇宙少年団苦小 牧分団	184	宇宙に関連するものを題材とした多彩な内容の工作 づくりや宇宙をテーマとする講義などを開催して おり、毎回多くの子どもたちが参加している。
5	令和6年4月14日～ 5月13日 令和6年10月1日～ 10月31日	「053(ゼロごみ)の日」 (春・秋)	ゼロごみ推進課	例年実施 (昭和62年～)	昭和62年度より、大掃除月間中の日曜日を、清潔で 住みよいまちづくりのため、自主的に清掃を行い、 環境美化と清掃意識の高揚を目的に「まちをきれい にする日」と定めた。以来、全市一斉に付近の道 路・公園・空き地などの清掃を実施。 平成24年度から「ゼロごみの日」と改称	町内会、自治会、事業 所、学校、子供・老人 クラブ等	25, 626	まちぐるみで清掃活動を行った結果、長期間放置さ れたごみが拾われ、まちがきれいになったほか、市 民の環境美化への意識が高まった。
6	令和6年4月26日 令和6年5月12日 令和6年6月28日 令和6年7月31日 令和6年9月1日 令和6年9月13日 令和6年9月15日 令和6年9月18日 令和6年11月10日 令和6年12月20日	苦小牧市美術博物館ボランティ ア運営登録事業	美術博物館	例年実施 (平成24年～)	美術や博物事業に関する見識や熱意を有する方々の 協力を得て、市民と協働した美術博物館活動を組織 的に推進し、館事業の円滑な運営を図るため、ボラ ンティア登録制度を導入し、活動を行うために必要 な支援を行う。	苦小牧市美術館友の会	195	各展覧会において、案内・監視業務をしていただい たことで、職員の業務負担が軽減されるとともに、 展示室内の変化にいち早く気付き、対処することが できた。監視業務においては、来館者の反応や展示 に関するご意見を学芸員に伝えていただいたこと で、細やかな対応をすることができた。また、年6回 実施した研修会では、当館の事業に対する理解を深 めていただけたと同時に、展覧会前の展示解説は好 評を得ている。
7	令和6年4月26日 令和6年11月6日	BCTC(Beautiful City Tomakomai Chitose)	空港政策課	単年度(新規)実施	空港周辺におけるゴミのポイ捨てが深刻化してい るため、地域の美化と環境保護を目的としたゴミ 清掃活動により、空港周辺を綺麗にする。	主催：(株)JALスカイ 札幌 協力：苦小牧市、北海 道エアポート(株)、千 歳市及び空港内店舗従 業員(2回目のみ)	55	1回目の実施の際には230k g、2回目の実施では 140k gのゴミを拾うことができ、地域の美化に繋 がった。 (1回目は全て苦小牧市内での清掃活動であつた が、2回目は千歳市も参加し、苦小牧市側と千歳 市側でグループを分けてゴミを拾ったため、苦小 牧市分で140k gとなった)

No.	実施年月日	協働事業の名称	担当部署	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	参加人数 (複数回の場合は延べ人数)	取組の効果、市民からの反響等
8	令和6年7月2日 令和6年8月3日	観光サポーター	観光振興課	例年実施 (平成26年～)	目的・・・市で協働して観光振興を図る。 内容・・・市内で開催されるイベントへの協力。市の歴史、文化、自然施設を案内する業務。 その他市の観光振興に資するための事業への協力	個人（令和6年度の登録者は6名）	3	例年、観光ガイドや通訳の要請があった場合の観光案内や、市のイベント等の受付や案内等の業務に協力いただいている。 令和6年度は北海道苫小牧総合経済高校での特別授業への参加やとまこまい港まつりへ協力していただいた。
9	令和6年7月21日	科学のびっくり箱！なぜなにレクチャー	科学センター	例年実施 (平成22年～)	子どもへものづくりの楽しさを伝え、科学技術に対する興味や夢を育むことを目的として開催している。燃料電池の仕組みを学び、手回し発電機などで水を電気分解し、出来上がったあ水素でプロペラを回したりオルゴールを鳴らしたり実際に活動する内容である。	トヨタ自動車北海道㈱	34	例年の行事として認知も広がってきており、多数の応募者がいる。 子供たちは製作に真剣に取り組み、出来上がりに満足していた様子であった。
10	令和6年7月24日	本のばくりっこ市	中央図書館	例年実施 (平成22年～)	図書館と図書館ボランティアグループ等が協力し、図書館に寄せられた本と市民の持ち寄る本を交換することで、本の再利用と図書館の利用促進を図る。	図書館ボランティアグループ	180	毎年好評の事業で市民、ボランティアの方々に認知されている事業である。ボランティア同士の交流の場としても活用いただいている事業であり、読書推進と市民協働の両面で効果を生み出す事業となっている。
11	令和6年7月27日	発明工夫工作教室「AM/FMラジオを作ろう」	科学センター	例年実施 (平成22年～)	AM/FMラジオの組み立てを通じて、子どもたちに電波の仕組みを学んでもらい、ものづくりの楽しさを感じてもらうことを目的として開催している。	日本無線㈱北海道支社、㈱電気工事西川組、苫小牧発明研究会	34	参加者は、本格的な工作に初めて取り組むという人も多い。 ・クイズ形式でラジオに関する知識を学んだり、自分で組み立てたラジオを聞いたりすることができて楽しかった。 ・作業は難しかったが子どもと楽しく作りあげることができた。 ・一般的なラジオとかわりなく聞けるラジオを作ることができて嬉しかった 等と感想をいただいた。
12	令和6年8月7日	地域で学ぼうSDGs！夏休み1日自由研究	ゼロカーボン推進室	例年実施 (令和4年～)	実験や座学を通してSDGsを学び、自由研究用の新聞製作をする ①授業：「SDGs」「脱炭素」って何？ ②実験：自転車発電してみよう！ ③アニメ鑑賞：CCSで地球温暖化を防ぐ ④実験：車の排気ガスをチェック ⑤体験：ゴミの分別を体験 ⑥自由研究：新聞作りにチャレンジ！	主催：(株)北海道新聞社 苫小牧支社 協賛：トヨタカローラ 苫小牧㈱ 協力：トヨタ自動車北海道㈱、日本CCS調査 ㈱、TOMASEIホールディングス㈱、苫小牧市	17	参加した子供たちから「電気をつくることの大変さが分かった」との声もあり、電気や節電への意識醸成を図れたと考える。
13	令和6年8月10日	青空子どもとしょかん	中央図書館	例年実施 (昭和62年～)	図書館と図書館の読み聞かせボランティアグループが協力し、公園の芝生の上で各団体が絵本の読み聞かせを行った。合間に、図書館スタッフが「図書館クイズ」を開催した。 子どもたちに、夏の暖かい気候と文化公園の自然のもと、野外で絵本の読み聞かせを体験し、本に興味をもってもらうきっかけにしたい。	にじのはし 苫小牧子どもの本の会でんでんむしサークル M’sきやらまど	77	晴天で、多くの家族連れに楽しんでいただきました。今年は、昨年度よりも読み聞かせ団体が1団体増えたこともあり、どのブースも非常に盛り上がっていた。 また、スタッフが絵本のキャラクターの変装し、客集めをし、子どもたちが楽しそうに交流していた。

No.	実施年月日	協働事業の名称	担当部署	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	参加人数 (複数回の場合は延べ人数)	取組の効果、市民からの反響等
14	令和6年10月24日 令和6年10月25日	ゼロカーボン見学ツアー (旧 身近なゼロカーボン見学会)	ゼロカーボン推進室	例年実施 (令和4年～)	市内及び近隣の事業所による先導的なゼロカーボンの取組や、エゾシカによる森林被害・捕獲後の活用方法等について学ぶことで、市民のゼロカーボンに対する関心・気運醸成を図る。 ①10月24日(木) 出光興産㈱ 北海道製油所(90分) ・ゼロカーボンに向けた取組の紹介 ・化石燃料を扱う企業としての生産、出荷における環境への配慮 ・次世代自動車の説明 等 ②10月25日(金) 明円工業(株) 環境資源部 苫小牧工場(90分) ・中間処理業者としての分別や使用される包装物の多様化による分別の難化についてのお話 ・ごみ分別施設の見学等 ③両日共通 ・エゾシカ森林被害・捕獲事業等について解説(弁天付近) ※環境生活課、猟友会協力	出光興産㈱ 北海道製油所、明円工業(株) 環境資源部 苫小牧工場、(社)北海道猟友会 苫小牧支部	45	アンケート結果より、回答者の全員が環境負荷の低減について「関心を持った」「少し関心を持った」と回答しており、環境保全に対する市民意識の醸成につながったと考えられる。 また、「出光の取り組みはゼロカーボンを企業として責任ある姿勢で好感を持てた。地球規模の問題を個人としても取り組み必要を感じた。」「ごみの見学大変よかった。ゴミ出しの考え方が変わりました。」などの意見が多く、市民の本事業に対する満足度が高かったことがうかがえる。
15	令和6年11月23日	プラネタリウム エレクトーン オンステージ	科学センター	単年度(新規)実施	プラネタリウム室の設備を有効活用し、星空を投影したプラネタリウム室で練習生とエレクトーンデモンストレーターによる演奏。来館者は自由に入室し聞くことができる。	㈱エルム楽器 苫小牧支店	77	出演者、参加者ともに好評で星空と音楽が織りなす世界を堪能していた。プラネタリウム室有効活用として幅広い来館者の利用ができ星空の魅力も伝わった。
16	令和7年3月30日	ゼロカーボン×ゼロごみ大作戦！ ファイナルイベント	ゼロごみ推進課	単年度(新規)実施	令和5・6年度に実施した「ゼロカーボン×ゼロごみ大作戦！」事業のファイナルとして、事業者や団体等による展示・体験ブースを設置し、幅広い市民が楽しめるイベントとして開催し、これまでの事業者や市民へ協力の感謝を伝えるとともに、大作戦期間終了後も市全体でゼロカーボンとゼロごみに取り組むための啓発イベント	苫小牧港管理組合等の全36社	1200	環境行政に関わってきた企業や団体同士の交流の場となったり、参加した市民は各ブースでの体験講座等に多く参加いただき、環境問題を身近に感じるきっかけとなった。